

最前線で闘う人たちのために。
「ものづくりの安城」に、できること。

飛沫感染防止用・簡易フェースシールド

A-MASK

エーマスク

「なんとか役に立ちたい」

異業種連携の技とノウハウで思いをカタチに



新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、医療機関や福祉施設、また人と人との接触を避けられない現場では、未だに混乱や不安の中で業務が続いている人がたくさんいます。16社からなる異業種連携団体「協同組合アンジョウハーツ」では、感染リスクの高い現場で働く人々のために「なんとか社会の役に立ちたい」との思いから、各社の専門技術やノウハウを相互に出し合い、飛沫感染防止用・簡易フェースシールド「A-MASK(エーマスク)」を企画・製造。医療機関などへの無償配布を始めました。神奈川大学・道用大介准教授が公開したオープンソース「Doyo Model」をベースに、装着時の安全性や量産性を実現する形状に改良。材料にはペットボトルキャップの再生素材を使用し、医療資源を奪わないこと・社会に余分なプラスチックを増やさないことにも配慮しています。県内外から数百件ものお問い合わせをいただき、感染症と関わる最前線での防護アイテム不足の深刻さ、危機感を改めて実感。現在は週に4万個もの生産体制を実現、必要な人に必要な分だけお届けできるよう、無償提供を継続中です。

手軽に快適に、リスクを軽減 環境にも配慮したフェースシールドフレーム

A-MASKは、身近にあるクリアファイルなどを使って組み立てることのできる、簡易フェースシールドのフレームです。材料にはペットボトルキャップの再生素材を使用し、サンバイザーのような形状で、後頭部にヘアゴムなどをかけてサイズを調節して使用します。シールドの部分はクリアファイルやラミネートフィルムなどに穴を開けて取り付けることで、簡単に組み立て・取り替えができるようになっています。

「A-MASK」の特徴

○環境・地域貢献に配慮した素材

材料には、ペットボトルキャップの再生素材「ユメプラスチック」を使用。医療資源を奪わないこと、社会に余分なプラスチックを増やさないことにも配慮しています。

○確かな品質と量産性

金型設計・製作専門工場で作成した金型を使用し、プラスチック成形工場で生産しているため、安全・高品質、また短時間での大量生産が可能。各社の専門領域を提供し合う異業種連携ならではのスピーディーな企画・製造です。

○快適な装着感

ペットボトルキャップの再生素材「ユメプラスチック」は粘りがあり軟らかく、また軽いため、装着に適しています。長時間の装着でも着け心地がよく、負担を軽減します。

「A-MASK」は、身近にあるクリアファイルなどを使って組み立て・取り替えることができます。

STEP 01 マスク、手袋などを着用してA-MASKを取り出す



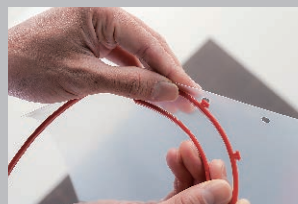
クリアファイルなどでA4サイズのシールドを作る

STEP 02 A-MASKにひび割れや破損がないか確認する

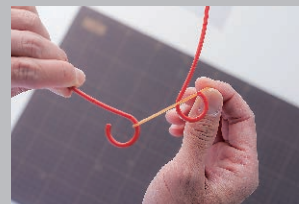


「穴位置用紙」とクリアファイルを重ね、パンチで穴を開ける

STEP 03 台所用漂白剤へ浸けて消毒する



「A-MASK」の突起をシールドの穴にひっかける



ヘアゴムをかけて完成

A-MASK原材料の「ユメプラスチック」製造工程

① キャップの回収



地域の子どもたちを中心に、月間800万個以上のペットボトルキャップを回収

② 仕分け



障がい者施設などでキャップについているシールを剥がし、色ごとに選別

③ キャップ粉砕



リサイクル工場に持ち込まれたキャップは、細かく砕かれ再生工場へ

④ ペレット完成



再生材は細かく切断され、ユメプラスチックのペレットに

⑤ 金型に流し込む



ユメプラスチックのペレットを溶かし、金型へ流し込むことで、アイデアをカタチへ

⑥ 全国へ



完成、「A-MASK」として全国へ



AnjoHearts
PROJECT

■お問い合わせ先 協同組合アンジョウハーツ
〒446-8512 愛知県安城市桜町16-1 安城商工会議所内
Tel 0566-76-5175 Fax 0566-76-4322 <http://www.anjohearts.jp/>

